

入試情報

入 試 日	願 書 提 出	合 格 発 表	内 申 点 計 算 方 法
<p>■学力検査: 3/10(木)</p> <p>■面接・実技検査: 3/11(金)</p>	2/25(木) ~29(月)	3/18(金)	<p>(3年生) 9教科×5段階×2+4教科×5段階</p> <p>(2年生) +9教科×5段階</p> <p>(1年生) +9教科×5段階</p> <p>=110+45+45=200点満点</p>

教育のプロ
トライさん



傾向

平成28年度入試から、内申点の計算方法が変更されます。3年時の評定に加えて、1・2年時の評定も加算されることになりました。学力点として学力検査(70点満点×5教科)に内申点(200点満点)が加算されます。学力検査内容は、基本問題が多いですが、図・グラフ・資料などを読み解く問題も多数出題されるため、過去問などで出題形式になれておく必要があります。また、岡山朝日高校では、国数英の3教科について自校作成の独自問題が実施されます。

平成26年度入試から、専門学科と一部の普通科で特別入学者選抜が実施されています。国数英3科目の学力検査・面接に加え、高校や学科独自の口頭試問・作文・小論文・実技が課されます。専門学科では募集定員の50%が特別入試の定員となっているところが多く、一般入試に比べて倍率が高くなっています。西大寺高校商業科など、昨年度までの検査内容とは異なる学校が何校かあるため、受験する学校の検査内容は必ず確認しておく必要があります。

科目別対策

英 語

大問5問で構成。リスニング・対話文・長文とバランス良く出題される。読解問題において、英文とともにさまざまな資料の読み取りが要求される傾向にある。本文が長いので速く読む練習を積んだり、過去問等で出題形式に慣れておく必要がある。難易度としては教科書レベルなので、教科書で学習する英単語・熟語・文法・会話表現などをきちんと押さえた上で、多くの問題を解いておくこと。

数 学

大問5問で構成。関数と方程式、図形の証明問題は毎年出題されている。大問1の基本的な計算問題で、どれだけ後半に時間を残せるかがポイントとなる。まずは十分な基礎力を固めること。後半については、方程式の応用、文字式の利用、関数と図形の融合問題を中心に練習問題を繰り返すこと。また、合同・相似の証明は頻出なので、過去問等を利用して何度も練習しておくこと。

国 語

大問4~5問で構成。例年150字程度の作文が出題されていたが、昨年度は80字だった。現代文の読解は論説文と小説。細部の読み取りや、登場人物の表現や心情に関する出題が多い。古典や韻文は、現代文の論説文に含まれているため、論説文中での古典解釈が重要になる。過去問を繰り返し解き、解答方法を身につけること。また、漢字の読み書きや文法、語句など幅広く復習しておくこと。

理 科

大問4問で構成。各分野全ての問題がバランスよく出題される。自由研究形式で複数単元にまたがる探究活動重視の出題が多い。物理分野はほぼ毎年電流か力学が出題され、生物分野は動物のからだのつくりとはたらきが大問となることが多い。応用問題の出題があるので、結果のみを丸暗記するのではなく、過程や根拠をしっかり理解しながら学習を進めること。

社 会

大問5問で構成。日本地理、世界地理、歴史2題、公民と各分野からバランス良く出題される。昨年度は語句15問、記号選択16問、記述4問の出題。年号や語句の暗記だけでなく、日頃から資料を読み解く練習をしておくこと。歴史は、教科書で基礎的知識を整理し、通史としてまとめ直すこと。また、公民では、政治・経済面での国際社会との関わりに注目すること。